

令和元年 11 月 4 日
大阪観光局

《大阪観光局と長野県、長野県観光機構との

包括連携協定締結について》

(公財)大阪観光局(理事長 溝畑 宏・ミゾハタ ヒロシ)と長野県(知事 阿部 守一・アベ シュイチ)、(一社)長野県観光機構(理事長 野原 莞爾・ノハラ カンジ)は、下記の通り、観光を中心とする人口交流・文化交流など幅広い連携を通じ双方の地域活性化に繋がる包括連携協定を2019年11月4日(月)に締結いたしました。

大阪では2018年訪日外国人が1,142万人を越え、今後更なる増加が見込まれ、IR・大阪万博を見据えた新たな取組み拡大を図る中、府内、関西エリアのコンテンツ開発と同時に、テーマ型広域周遊ルートの開発にも着手しております。

大阪から各地域の上質なコンテンツを繋げたルートを磨き上げ、大阪が多種多様な体験を提供できるショーケースとしての役割を担ってまいります。

長野県は、日本屈指の健康長寿県でもあり、大阪が目指す健康・ウェルネスを目的としたコンテンツ造成のヒントが豊富にございます。

また、世界から求められる観光素材である、本格的トレッキングやスキー、高原リゾートや星空、森林・植樹を活かしたグリーンツーリズムやアドベンチャーツーリズムなどが可能である。

都市に必要な緑化やグリーンを基点とした持続可能社会の研究も行ってまいります。

1. 包括連携協定の目的

大阪観光局と長野県及び長野県観光機構は広域観光ルートにおける密接な連携により訪日外国人をはじめとする交流人口の拡大を推進し、もって地域の成長・発展を図ることを目的とする。

2. 包括連携協定の概要

- ① 観光を通じた地域の魅力づくりに関すること
- ② 地域の情報発信力及び認知度の向上に関すること
- ③ 新たな観光ルート開発に関すること
- ④ 信州まつもとと空港発着路線の活用に関すること
- ⑤ 国内外の観光プロモーションに関すること
- ⑥ 森林などを活用したツーリズムの研究に関すること

以上